

令和4年11月25日 試行開始

# 湯湾岳の利用ルールについて

「貴重な自然環境の保全」と  
「持続可能な利用の促進」

湯湾岳には、世界的にも貴重な固有の動植物が生息・生育しています。

こうした貴重な自然環境を将来にわたって引き継いでいくため、湯湾岳の自然環境の保全に努め、適切に利用することが求められます。利用ルールへのご協力をお願いします。

## 貴重な自然環境の保全のためのルール



動植物をとらない、持ち帰らない

動物の捕獲や植物の採取は行わないでください。湯湾岳周辺は奄美群島国立公園の特別保護地区に指定されており、原則として許可なく動植物の捕獲・採取等はできません。



外来種等を持ち込まない、拡散しない

衣服に付着した種子の確認や靴底の泥を十分落とすなど、外部から種子を持ち込まないよう配慮をお願いします。在来種であっても人為的な持込みは行わないでください。



植物を踏まない、樹木の枝を折らない・切らない

歩道沿いにも希少な植物が生育しています。歩道や広場においては、周辺の植物を踏まないよう注意してください。また、樹木の伐採や剪定は行わないでください。



歩道や広場以外の場所に立ち入らない

自然環境の保全のため、道や広場を外れて脇道や林内に立ち入らないでください。



山頂の保全ゾーンには立ち入らない

山頂の**保全ゾーン**は、特に希少な植物が生育し、自然環境の保全上、最大限の配慮が求められます。また、歩道のぬかるみが多く見られることから、利用による拡幅が懸念されています。希少な植物等を厳正に保全するため、祠広場より奥の山頂の**保全ゾーン**には利用のために立ち入らないようにお願いします。

※学術調査等にかかる立ち入り等については認められる場合があります。詳しくは裏面末尾「ルートについて詳しくはこちら」のQRから。

## 持続可能な利用の促進のためのルール



少人数利用等の推進

**準保全ゾーン**の宇検村登山口からの登山道は、湯湾岳の貴重な自然環境に対する利用のインパクトの軽減化や森の静寂性、厳かな雰囲気損なうことがないよう、利用は**1グループ8人程度以下**を目標水準とした少人数による利用を心掛けてください。



ガイド帯同の推奨

**準保全ゾーン**では、自然体験の質の向上や、自然環境への負荷を低減した適正な利用の推進のため、**ガイド帯同を推奨**します。ガイドについては奄美大島エコツアーガイド連絡協議会(右上のQRコード参照)、大和村集落まるごと体験協議会(0997-57-2828)、宇検村ガイド協会(090-1161-7521)まで。



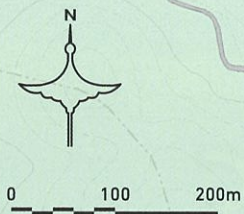
地元から神聖視される場所としての配慮

湯湾岳は奄美大島の始祖アマミコ・シニレク降臨の伝説や、與湾大親の墓所の伝承が残り、地域の信仰の対象となっています。**祠広場**には、こうした石碑や祠が祭られていることから、**厳かな雰囲気損なうことのないような利用**をお願いします。



※ **保全ゾーン** **準保全ゾーン** **祠広場** については裏面地図参照





至 宇検村田検

至 奄美フォレスト  
ポリス

大和村

採掘跡  
採掘跡  
(掘り出し)

徒歩約15分

自然体験ゾーン  
(大和村側ボードウォーク・  
祠広場エリア)

祠広場



湯湾岳山頂  
展望台

保全ゾーン  
(山頂エリア)

湯湾岳  
694.37



立ち入らない

世界自然遺産地域

緩衝地帯

徒歩約50分

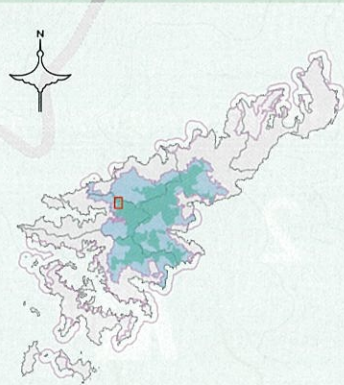
準保全ゾーン  
(宇検村側歩道エリア)  
少人数利用、ガイド帯同推奨

至 奄美フォレスト  
ポリス

宇検村



詳細図全体：  
奄美群島国立公園エリア



■ 世界自然遺産地域

■ 緩衝地帯

□ 奄美群島国立公園エリア

宇検村登山口

村道湯湾大柵線

湯湾  
472.93

自然体験ゾーン  
(湯湾岳公園エリア)



湯湾岳公園  
展望台

至 宇検村湯湾



## 湯湾岳山頂 展望台

登山道の終着点。  
山頂付近からの景色が楽しめる他、湯湾岳にまつわる  
伝説を紹介する看板も。



展望台からの眺め



## 湯湾岳公園 展望台

展望台公園駐車場から徒歩  
数分程度の場所にあり、焼  
内湾を一望できる眺望を手  
軽に楽しむことができます。  
展望台公園には休憩用の東  
屋やトイレも整備されてい  
ます。



宇検村提供

登山道に入られる方は、安全のために、長袖・長ズボン、長靴・運動靴など  
滑らない靴、軍手等を着用してください。  
右記のサイトもご覧ください。



ルールについて  
詳しくはこちら

